

非体験者が受け継いだ、被爆者の“体験”と“平和への思い”  
～講話を聞くことも継承の第一歩。あなたも一緒につないでみませんか～

# 家族・交流証言フォーラム

日時：平成29年3月18日（土）13：30～16：30

場所：長崎原爆資料館ホール（長崎市平野町7-8 原爆資料館B1F）

時間	内容	講話者
13:30～13:35	開会	
13:40～14:10	①交流証言講話 ～被爆者から直接聞ける最後の世代として～ 田川博康さんの被爆体験	交流証言者 久家 江光子
14:15～14:45	②交流証言講話 ～核廃絶への強い思いを伝える～ 末永浩さんの被爆体験	交流証言者 吉田 睦子
14:50～15:10	＊若者の平和活動を紹介します！ ～若い世代の平和発信のチカラ～	青少年ピース ボランティア
15:15～15:45	③交流証言講話 ～高校生が継承するということ～ 丸田和男さんの被爆体験	交流証言者 原田 理紗子
15:50～16:20	④家族証言講話 ～ヴィオラの音色とともに～ 母・沖西素子の被爆体験	家族証言者 沖西 慶子
16:25～16:30	閉会	

ご注意＊講話の進み具合によって②以降の開始時間が変更となる場合がございます。  
時間に余裕を持ってお越しください。

入場無料・申込不要

「語り継ぐ被爆体験（家族・交流証言）」推進事業について



連絡先：長崎市被爆継承課 TEL：095-844-3913

# 講話者プロフィール

※すべて敬称略

## 交流証言者

### 久家 江光子

(くが えみこ)

中学校英語教諭。

平和教育で「あなたたちは被爆者から直接聞ける最後の世代です」と中学生に伝えている中で、平和への願いや被爆体験の継承の重要性を強く感じ、自分にもなにかできないかと交流証言者を目指す。

### 田川 博康

(たがわ ひろやす)

当時12歳。

爆心地から3.3kmにある疎開先の鳴滝町で被爆。

## 交流証言者

### 原田 理紗子

(はらだ りさこ)

純心高校3年生。友人に誘われたことをきっかけに、交流証言者に申込み。

高校卒業後は海外へ進学予定。生まれ育った長崎での出来事を多くの人たちへ伝えたいと考えている。

長崎市の家族・交流証言者最年少。

### 丸田 和男

(まるた かずお)

当時13歳。

爆心地から1.3kmの銭座町1丁目の自宅で被爆。

## 交流証言者

### 吉田 睦子

(よしだ むつこ)

(公財)長崎平和推進協会の平和案内人2期生で、国立長崎原爆死没者追悼平和祈念館の外国語ボランティアガイドでもある。日本語、英語で原爆資料館などのガイドを行っている。

また、被爆体験記朗読ボランティア「永遠(とわ)の会」に所属。

平和活動を通して被爆者との親交が深い。

### 末永 浩

(すえなが ひろし)

当時9歳。

8月9日は諫早市に疎開しており、19日に入市被爆。

## 家族証言者

### 沖西 慶子

(おきにし けいこ)

被爆2世。ヴィオラ奏者。広島市在住。長崎原爆の被爆者である母・沖西素子の被爆体験について伝える。

また、広島市被爆体験伝承者2期生として広島の被爆者の体験も伝承している。

講話の最後に、当時学生たちが歌っていた歌をヴィオラで奏でる。

### 沖西 素子

(おきにし もとこ)

当時10歳。

爆心地から4.1kmの上小島町の自宅で被爆。